

国有林野所在市町村の魅力紹介

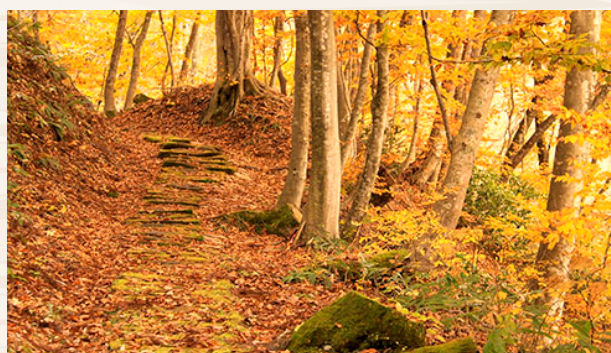


山形県西置賜郡小国町

置賜森林管理署

小国町は、山形県の西南端にあって新潟県との県境に位置し、737.56平方キロメートルという広大な町土を有しています。

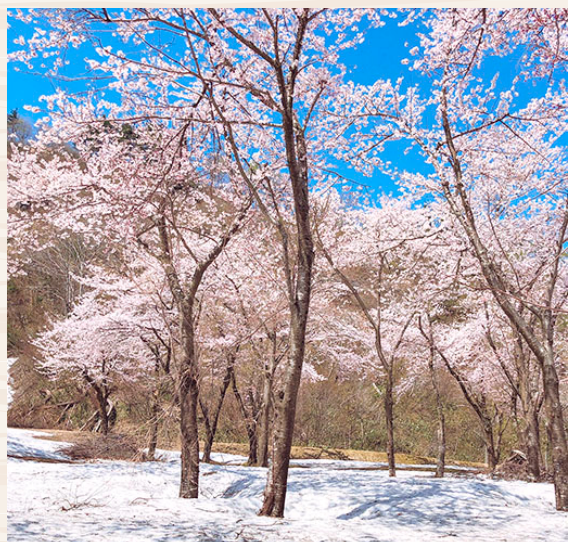
磐梯朝日国立公園に属する、朝日連峰、飯豊連峰という雄大な山並みに抱かれ、小国町の広大な町土の約95%には、ブナを中心とした広葉樹の森が広がっています。



黒沢峠

ブナの森は、山菜、きのこ、溪流にすむイワナなど、山の幸や川の幸をはぐくんでおり、この豊かな自然空間の中には、たくさんの動物たちが生息しています。小国の人々は、この恵み豊かな森の中での暮らし、森とのかかわりから育まれた独特の生活文化を「ぶな文化」と呼んでいます。

また、小国町は、日本海側気候の影響を受け、



残雪桜

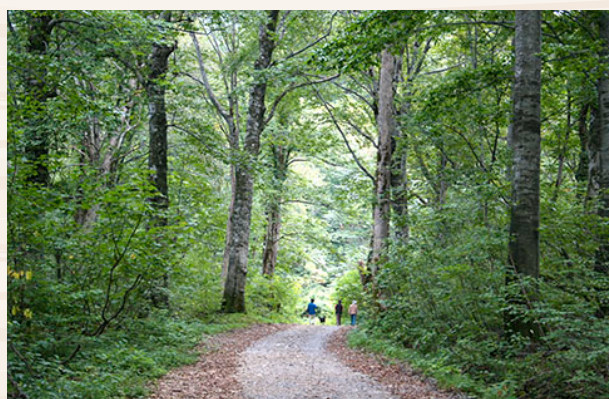
冬は全国有数の豪雪地帯となります。たくさん降る雪は、小国の土地に豊富な水を蓄え、森林をはじめ、そこに生息する多くの動植物の生命を育んできました。その豊富な水資源を活用し、昭和初期に水力発電所が建設されて大手企業の工場が立地し、以来小国町は山村には珍しい第二次産業を中心とする産業構造となっています。

この、町を象徴する二つの素材である白い幹の「ブナ」とたくさんの「雪」から共通してイメージできる「白」をキーワードに、町全体を“白い森”と表現しています。



飯豊温泉 梅花皮荘

小国町の南部方面、飯豊連峰の麓にある「ブナの森・温身平」では、山形県で唯一の森林セラピーを体験することができます。森林セラピーとは、森の癒し効果を活かして心身の元気を取り戻そうという取り組みです。温身平は、平成18年4月に全国初の森林セラピー基地に認定されました。なだらかで歩きやすい総延長約5.5kmの遊歩道が整備されており、体力に自信のない方でもゆっくりと散策を楽しむことができます。



森林セラピー基地温身平